

問1 青森県にある三内丸山遺跡の調査によって明らかになった、縄文時代の人々の生活や社会の様子として最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった稲作を基盤とし、集落の周囲に深い堀を巡らせて外敵の侵入を防ぐ生活を送っていた。
2. クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。
3. 金属器を用いた農耕が普及し、王の権威を示すために巨大な前方後円墳を築造する社会を形成していた。
4. ナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を狩るため、特定の拠点を持たずに獲物を追って移動を繰り返していた。

問2 世界の陸地の姿について説明した次の文のうち、アジア州とヨーロッパ州を含む広大な陸地の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 赤道をまたいで南北に長く伸びており、六大陸の中で二番目に大きな面積を持っている。
2. 六大陸の中で最大の面積を誇り、地球の陸地の多くが北半球に集まる大きな要因となっている。
3. 大西洋と太平洋に挟まれており、パナマ運河によって南北に分断されている。
4. すべてが南半球に位置しており、一つの国で大陸全体を占めている。

問3 東京を中心とした正距方位図法の地図において、東京から5,000km、10,000km、15,000kmという等距離線をもとに各都市への距離を比較したとき、東京からの直線距離が最も近い都市はどこか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. ブエノスアイレス (南アメリカ南部)
2. ケープタウン
3. ニューヨーク (アメリカ東部)
4. ヤクーツク

問4 室町時代には、現代にも続く様々な文化が形作られました。その中で、能の合間に演じられ、当時の民衆の生活や感情を滑稽 (こっけい) に描いた喜劇を何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

1. 狂言
2. 水墨画
3. 書院造
4. 連歌

問5 寛政の改革において、松平定信が飢饉や凶作に備えて米を蓄えさせる政策を実施した主な理由として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 参勤交代の負担を減らす代償として、各大名から幕府へ米を強制的に納めさせるため。
2. 株仲間を解散させたことによって途絶えた都市への米の流通網を再構築するため。
3. 直前に起きた大飢饉の教訓から、非常時における食糧不足や社会の混乱を防ぐため。
4. 長崎貿易を拡大するために、海外へ輸出するための余剰米を確保する必要があったため。

問6 1905年にアメリカの仲介によってロシアと結ばれたポーツマス条約の内容が、当時の日本国民にとって期待外れであったために発生した抗議活動の説明として、正しいものを選択してください。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. 東京の日比谷公園で講和反対の国民大会が開かれ、暴動へと発展した日比谷焼き打ち事件が起きた。
2. 明治天皇の暗殺を計画したとして、幸徳秋水らの社会主義者が捕らえられた大逆事件が起きた。
3. 第一次世界大戦後の講和条約の内容に不満を持った人々が、中国で起こした五・四運動が波及した。
4. シベリア出兵による米価の急騰を受け、富山県の主婦らが米の安売り求めた米騒動が起きた。

問7 日本の労働環境において長く続いてきた雇用慣行の一つで、新規採用された労働者が一つの企業に定年まで雇用され続ける仕組みを何というか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 年功序列賃金
2. 派遣労働
3. 裁量労働制
4. 終身雇用

問8 日本国憲法において「精神の自由」に分類される権利の組み合わせとして、適切なものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. 思想および良心の自由・信教の自由・学問の自由
2. 居住および移転の自由・職業選択の自由・信教の自由
3. 学問の自由・表現の自由・財産権の行使
4. 身体の自由・信教の自由・奴隷的拘束からの自由

問9 日本の資源自給率の統計において、鉄鉱石が0.0%、石炭が0.4%という極めて低い数値を示している現状を踏まえ、日本の鉄鋼業が発展した立地条件として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 明治時代の官営八幡製鉄所のように、現在も国内の炭鉱や鉄山がある原料産地のすぐ近くに工場を配置している。
2. 海外から輸入する主原料を大型船で直接運び込めるよう、太平洋沿岸などの臨海部に工場を配置している。
3. 国内の山間部で採掘されるわずかな原料を効率よく集めるため、内陸の交通の要所に工場を配置している。
4. 製品の輸送コストを抑えるため、原料の輸入港から離れた人口の多い大都市近郊の内陸部に工場を集中させている。

問10 2020年の農業産出額の統計において、米が全体の約6割という高い割合を占めている県として、最も適切な名称を選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)

1. 鹿児島県
2. 茨城県
3. 愛知県
4. 新潟県

問11 1950年から2010年までの日本の世帯数と1世帯あたりの平均人数の推移について、世帯数が約1658万から約5195万へと約3倍に増加した一方、1世帯あたりの人数が5.02人から2.46人へと大幅に減少している状況が見られます。このような世帯の小規模化が進んだ背景にある、夫婦のみ、あるいは夫婦と未婚の子供のみで構成される世帯を何といえますか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

1. 三世代世帯
2. 共同体世帯
3. 単身世帯
4. 核家族世帯

問12 日本の工業地帯・地域の統計において、工業出荷額が最も多い中京工業地帯の産業構造について、適切な背景を説明しているものはどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

1. 自動車に関連する部品や本体の製造を行う機械工業が中心であり、それに付随する金属工業などの関連産業も集まっている。
2. 古くからせんい工業が盛んであったが、現在は阪神工業地帯を抜いて化学工業の出荷額が日本一となっている。
3. かつての重化学工業から知識集約型産業への転換に成功し、現在はソフトウェア開発などの第3次産業が工業出荷額の大半を占める。
4. 東京都から神奈川県に広がる京浜工業地帯と同様に、印刷・出版業と機械工業が二大産業として発展している。

問13 下関条約の内容とその後の情勢について述べた文として、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)

1. 日本は多額の賠償金を得たが、領土の割譲については欧米諸国の反対により一切認められなかった。
2. 清に朝鮮の独立を認めさせ、日本は遼東半島、台湾、澎湖諸島を譲り受けた。
3. 獲得した多額の賠償金は、そのすべてが国民の所得倍増計画や義務教育の無償化に充てられた。
4. 条約締結後、イギリス・アメリカ・ドイツの三力国による干渉を受け、台湾を清に返還した。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                  |                                                                                                                                                                                                       |
|-----|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 2<br>クリなどの植物を栽培したり、遠方の地域と黒曜石やヒスイを交易したりして、長期間の定住生活を送っていた。      | 三内丸山遺跡では、大型の掘立柱建物や膨大な量の土器が見つかっており、縄文時代の人々が同じ場所に定住して高度な社会を築いていたことが判明しました。クリの栽培や、北海道・新潟など遠隔地との交易の証拠も見つかっており、従来の「狩猟採集のみで移動を繰り返す」という縄文時代のイメージを大きく覆しました。稲作や環濠集落は弥生時代、前方後円墳は古墳時代、大型動物の追跡は旧石器時代の特徴です。        |
| 問2  | 答え 2<br>六大陸の中で最大の面積を誇り、地球の陸地の多くが北半球に集まる大きな要因となっている。              | この広大な大陸は北半球の北緯10度付近から北極圏まで広がっており、地球全体の陸地分布を大きく北寄りにさせています。面積の大きさだけでなく、世界の人口の多くがこの大陸上に集中しているという点も重要な特徴です。                                                                                               |
| 問3  | 答え 4<br>ヤクーツク                                                    | 正距方位図法では、地図の中心から任意の地点までの直線距離が、実際の地球上における最短距離を表します。東京を地図の中心とした場合、ヤクーツクは東京から5,000km圏内を示す等距離線の内側に位置しており、ケープタウンやアメリカ、南アメリカの都市に比べて最も東京に近い位置にあります。                                                          |
| 問4  | 答え 1<br>狂言                                                       | 狂言は、能とともに室町時代に大成した伝統芸能です。厳かな雰囲気を持つ能とは対照的に、狂言は当時の一般庶民の日常や失敗談をユーモアたっぷりに描いた喜劇であり、農民などの民衆からも広く支持されました。                                                                                                    |
| 問5  | 答え 3<br>直前に起きた大飢饉の教訓から、非常時における食糧不足や社会の混乱を防ぐため。                   | 松平定信が寛政の改革を行う直前には天明の大飢饉が発生し、全国で深刻な食糧不足や農村の荒廃、社会の不安が生じました。定信はその教訓を踏まえ、再び飢饉や凶作が起きてても混乱が生じないよう、大名や町人に米を蓄えさせる「囲い米」などの備えを義務付けました。                                                                          |
| 問6  | 答え 1<br>東京の日比谷公園で講和反対の国民大会が開かれ、暴動へと発展した日比谷焼き打ち事件が起きた。            | 日露戦争では、多大な戦死者が出ただけでなく、国民は重い税負担に耐えてきました。しかし、アメリカの仲介で結ばれたポーツマス条約では、ロシアから賠償金を得ることができなかったため、苦勞に見合う成果がないと感じた国民の怒りが爆発しました。この暴動により、当時の小村寿太郎外相らが批判され、桂太郎内閣は退陣に追い込まれました。                                       |
| 問7  | 答え 4<br>終身雇用                                                     | 学校卒業後に入社した企業で定年まで働き続けるこの慣行は、戦後の高度経済成長を支える大きな要因となりました。労働者にとっては雇用が保障される安心感があり、企業にとっては長期的な視点での人材育成が可能になるという利点がありました。年功序列賃金や企業別労働組合と合わせて「日本的経営の三種の神器」とも呼ばれます。                                             |
| 問8  | 答え 1<br>思想および良心の自由・信教の自由・学問の自由                                   | 精神の自由は、人間の心の中の自由や、それを外部に発表する自由を指します。信教の自由、学問の自由、思想および良心の自由、そして集会・結社・表現の自由がこれに含まれます。選択肢にある「居住・移転の自由」や「職業選択の自由」、「財産権」は経済活動の自由、「身体の自由」は人身の自由にあたります。                                                      |
| 問9  | 答え 2<br>海外から輸入する主原料を大型船で直接運び込めるよう、太平洋沿岸などの臨海部に工場を配置している。         | 日本は鉄鋼業の主原料である鉄鉱石や石炭のほとんどを海外からの輸入に頼っています。そのため、海外からの大型貨物船が直接接岸でき、原料の陸揚げから製品の積み出しまでを効率的に行える「臨海部」が、製鉄所の立地として最も適しています。かつては国内の炭鉱に近い場所（北九州など）に立地することもありましたが、輸入への依存度が高まるとともに、より大規模な港湾を持つ沿岸部へと中心が移りました。        |
| 問10 | 答え 4<br>新潟県                                                      | 新潟県は日本有数の稲作地帯であり、越後平野などの広大な平坦地と、冬の積雪による豊富な雪解け水を利用した米作りが盛んです。そのため、農業産出額に占める米の割合が他県に比べて突出して高いという特徴があります。                                                                                                |
| 問11 | 答え 4<br>核家族世帯                                                    | 高度経済成長期以降、都市部への人口移動や生活様式の変化に伴い、かつての祖父母を含めた大家族（三世代世帯など）から、親と子だけで暮らす小さな単位の世帯が主流となりました。この構成を核家族と呼び、1世帯あたりの人数を押さえる大きな要因となっています。                                                                           |
| 問12 | 答え 1<br>自動車に関連する部品や本体の製造を行う機械工業が中心であり、それに付随する金属工業などの関連産業も集まっている。 | 中京工業地帯が日本一の工業出荷額を維持している背景には、愛知県を中心とした自動車産業の集積があります。機械工業が全体の約69.1パーセントと圧倒的な比重を占めており、自動車の製造に不可欠な鉄鋼などの材料を供給する金属工業（約9.6パーセント）も重要な役割を果たしています。このように、特定の産業を中心に関連産業が結びついているのが中京工業地帯の強みです。                     |
| 問13 | 答え 2<br>清に朝鮮の独立を認めさせ、日本は遼東半島、台湾、澎湖諸島を譲り受けた。                      | 下関条約では、清に朝鮮の独立を認めさせたほか、遼東半島・台湾・澎湖諸島の割譲、および3億1000万両（テール）におよぶ賠償金の支払いが定められました。このうち遼東半島については、条約締結直後にロシア・ドイツ・フランスが行った「三カ国干渉」により、日本は清へ返還することとなりました。また、賠償金の多くは軍備拡張や八幡製鉄所の建設費用などに充てられ、日本の重工業化を推し進める原動力となりました。 |